

「住み慣れた地域で最期まで」を支える在宅医療・介護の基本 アンケート

平成 30 年 10 月 24 日 (水)

1 講座の平均参加者数 23.3 人 (薬学部実習生 2 名含む)

アンケート配布数 24

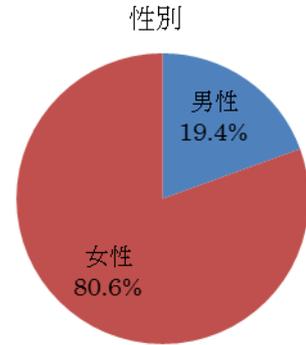
回収数 22 (回収率 91.7%)

全 6 回修了者 12 人 (修了証書授与 11 人)

<アンケート内容の集計>

性別

男性	2
女性	20



平均年齢 (n=21) 65.4 歳 (範囲: 23~85 歳)

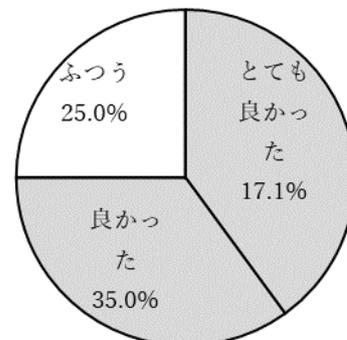
居住地域 (n=18)

旭町	2	春日町	1	昭和町	1
池浦町	2	要池住宅	1	助松町	1
東雲町	2	楠町東	1	東港町	1
松ノ浜	2	小松町	1		

問 1. 今回の市民公開講座 (全体) はいかがでしたか? 当てはまるもの 1 つに ○をつけてください。

( とても良かった・良かった・ふつう・あまり良くなかった・良くなかった )

項目	人数
とても良かった	8
良かった	7
ふつう	5
あまり良くなかった	0
良くなかった	0
計	35



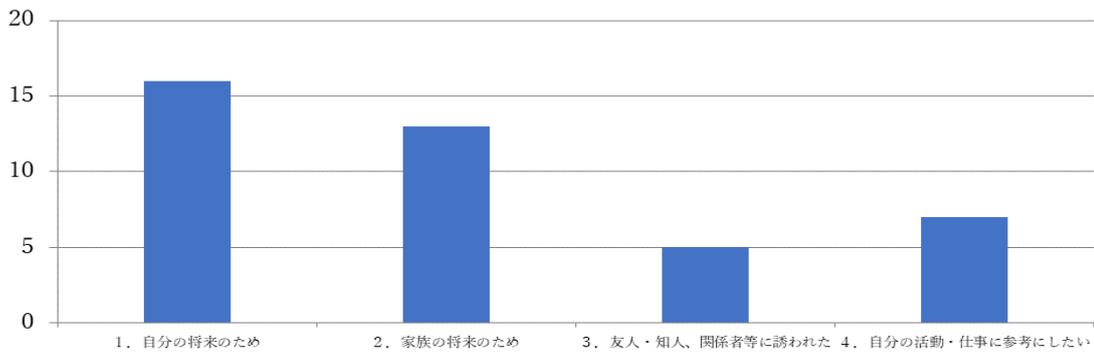
問 2. 問 1. で「あまり良くなかった」、「良くなかった」と回答された方に・・・

その理由をお聞かせください。 ⇒ 「あまり良くなかった」「良くなかった」の回答なし

問3. あなたが今回、市民公開講座に参加した理由をお聞かせください。

下記から当てはまるものすべてに○をしてください。（複数回答）

- 1. **自分の**将来のために、在宅医療・介護について知っておきたかったから 16
- 2. **家族の**将来のために、在宅医療・介護について知っておきたかったから 13
- 3. 友人・知人、関係者等に誘われたから 5
- 4. 自分の活動・仕事に参考にしたいから 7
- 5. その他 0



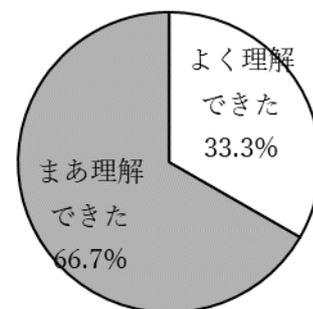
問4. 各講座の内容はいかがでしたか？ 各講座ごとに、当てはまるもの1つに○をしてください。

① 9月19日

「医療・介護を上手に受けるための心がまえ」

項目	人数
よく理解できた	6
まあ理解できた	12
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0
欠席した	0
計	18

講座について①

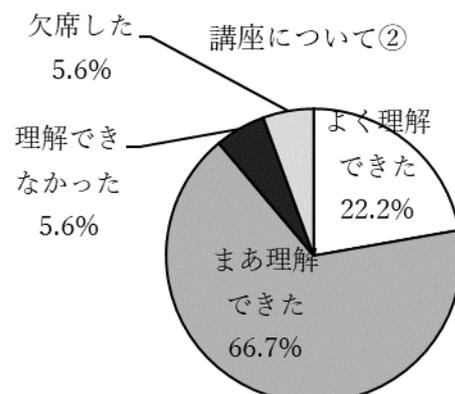


② 9月26日

「在宅療養生活の実際①在宅医療の基本と実際」

項目	人数
よく理解できた	4
まあ理解できた	12
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	1
欠席した	1
計	18

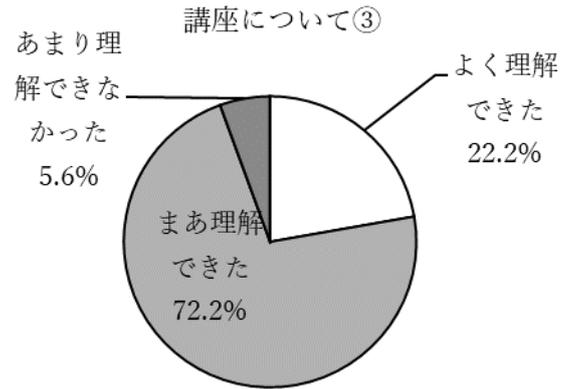
講座について②



③ 10月3日

「在宅療養生活の実際② 高齢者のお口の健康とお薬」

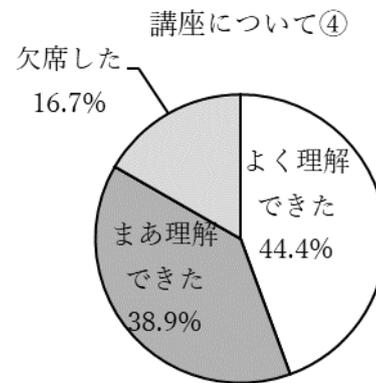
項目	人数
よく理解できた	4
まあ理解できた	13
あまり理解できなかった	1
理解できなかった	0
欠席した	0
計	18



④ 10月10日

「在宅療養生活の実際③ 高齢者の訪問看護とリハビリテーション」

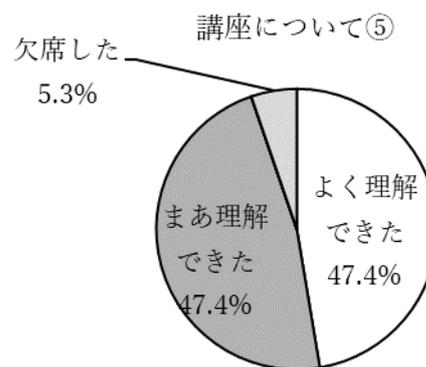
項目	人数
よく理解できた	8
まあ理解できた	7
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0
欠席した	3
計	18



⑤ 10月17日

「在宅療養生活の実際③ 知っておきたい介護保険」

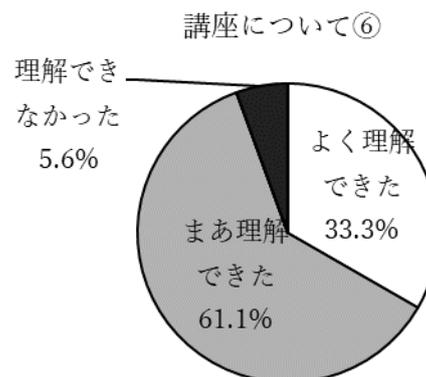
項目	人数
よく理解できた	9
まあ理解できた	9
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0
欠席した	1
計	19



⑥ 10月24日

「住み慣れた地域で最期までを支える多様な住まい」

項目	人数
よく理解できた	6
まあ理解できた	11
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	1
欠席した	0
計	18

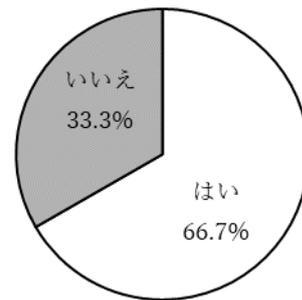


問5. あなたが自宅で療養生活を送ることは難しいと思いますか？

当てはまるものどちらかに○をつけてください。

はい	14
いいえ	7

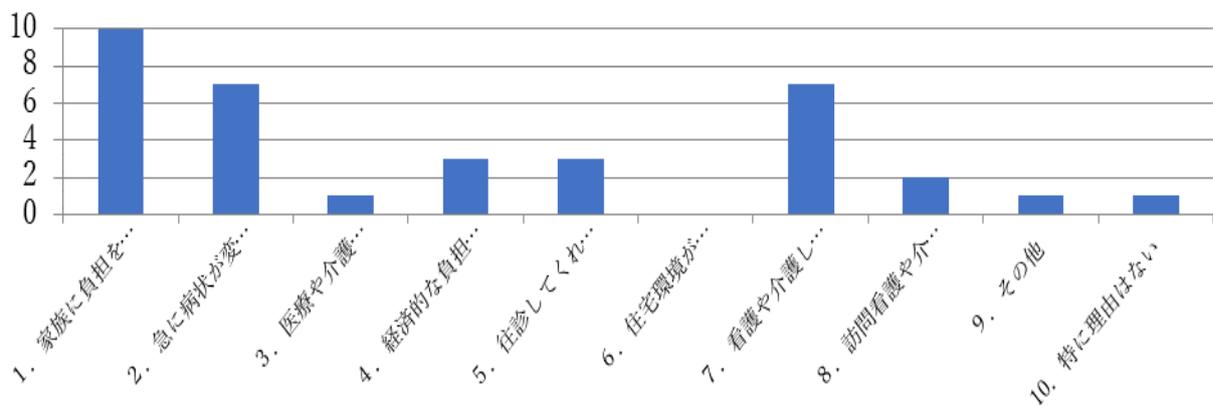
自宅での療養生活は難しいと思うか？



問6. 問5. で「はい」と回答された方に・・・

下記から、その理由で当てはまるものすべてに○をしてください。

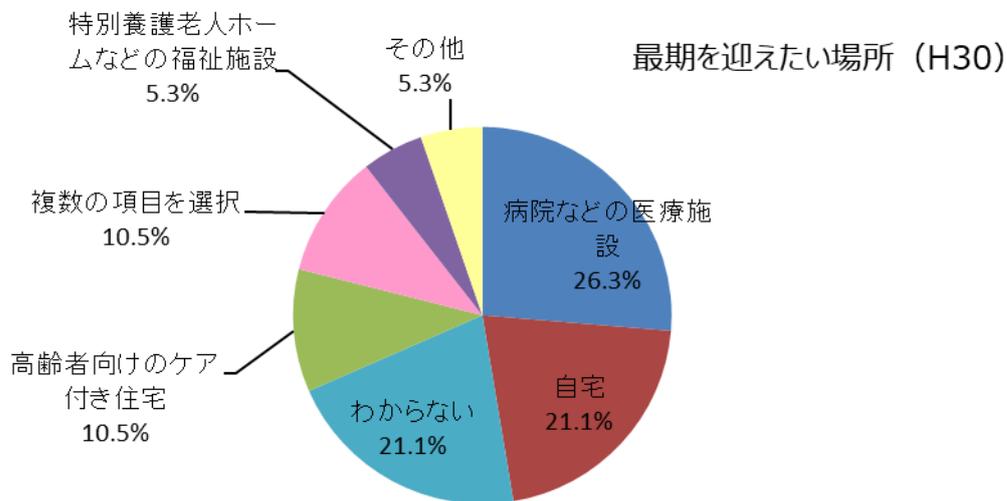
- |                        |    |
|------------------------|----|
| 1. 家族に負担をかける           | 10 |
| 2. 急に病状が変わった時の対応       | 7  |
| 3. 医療や介護サービスの受け方がわからない | 1  |
| 4. 経済的な負担がかかる          | 3  |
| 5. 往診してくれる医師がいない       | 3  |
| 6. 住宅環境が整っていない         | 0  |
| 7. 看護や介護してくれる家族がいない    | 7  |
| 8. 訪問看護や介護の体制が不十分      | 2  |
| 9. その他 ( )             | 1  |
| 10. 特に理由はない            | 1  |



問7. 万一、あなたが治る見込みがない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか？

下記から当てはまるもの 1つに○をしてください。 (n=19)

- |                     |   |
|---------------------|---|
| 1. 病院などの医療施設        | 5 |
| 2. 自宅               | 4 |
| 3. 子どもの家            | 0 |
| 4. 兄弟姉妹など親族の家       | 0 |
| 5. 高齢者向けのケア付き住宅     | 2 |
| 6. 特別養護老人ホームなどの福祉施設 | 1 |
| 7. その他 ( )          | 1 |
| 8. わからない            | 4 |



問8. 自分や家族が、自宅で療養するにあたり、どんな支援や情報があればいいと思いますか？

具体的にお聞かせください。

情報提供	親族が遠方において協力を期待できない場合の支援の受け方などの情報
	自分や家族の病気に特化したい医療機関やその病気に詳しい介護事業所などケースにあった支援先の情報があればいいと思います。
	閉じこもりがちですが、地域（自治会、老人会等）の情報が楽しみの1つになるかと思われる。
	入浴の介助
相談窓口やサービス	相談にのってくれるケアマネジャー、往診してくれる医師、訪問看護
	訪問介護、訪問看護
ボランティア生活支援	自宅近くで介護サービス以外の生活の手伝い（支援）をしてくれるボランティアさん。
	朝起きて例えばポットのボタンを押したら確認できるような、生存状況がわかるような生活がいいのかななんて思ったりしました。